

通信設備用監視制御情報変換装置



監視制御情報変換装置 (MCS-T)

さまざまな情報ネットワークの構築に必要な伝送装置は、今やコンモキャリアだけでなく、自営通信網事業者への導入が急速に進展しつつある。

このような中、当社では、各種通信設備や局舎設備の監視制御情報を、局舎ごとに効率良く上位ホスト系に転送する監視制御情報変換装置について、保守性の向上（シリーズ化による保守品の削減）とLAN対応の強化を目的に、全面改式を図った。

新しい装置では、通信設備との同一架混載を意識した構造と小型化、低価格化、オプション機器と機能のメニュー化によるコストパフォーマンスの向上を実現した。

主な対象市場

- 1) 第一種通信事業者
- 2) 第二種通信事業者
- 3) 自営通信網事業者

特長

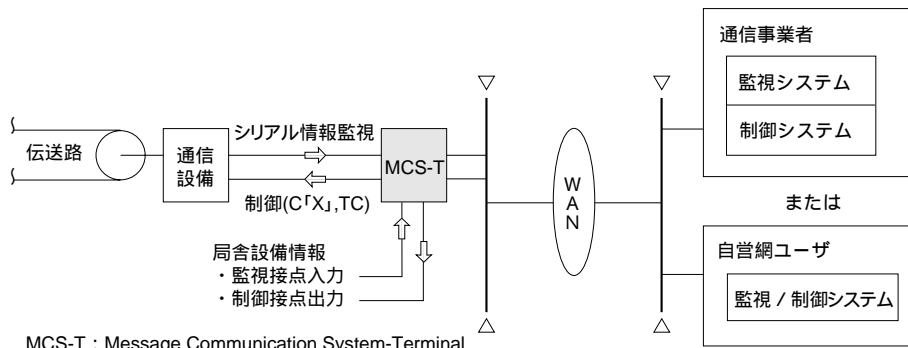
- 1) 高性能CPU (32bitCPUリアルO/S) の採用

による分散処理型CPUの数を削減し、低コスト化と小型化を実現

- 2) SDH通信設備に対する監視制御I/F機能の一体化の実現
- 3) 従来比(当社比)約1/3の装置小型化の実現
- 4) デジタル実装による通信設備との同一架混載の実現
- 5) 上位回線の2ルート化(冗長性)対応

MCS-Tシリーズの主な仕様

| 項目 | 通信事業者 / 自営網ユーザ向け | 自営網ユーザ (特に電力会社) 向け |
|-----------|---------------------------|------------------------------|
| 通信方式 | HDLCまたはTCP/IP | TCP/IP |
| 監視NE数 | 29台 | 29台 |
| 監視接点入力数 | 1024点 | - |
| 制御接点出力数 | 48点 | - |
| TC制御機能 | 最大1回線(2系統)対応可能 | 最大5回線(x2系統)対応可能 |
| 電源部仕様 | 電源部2系統受電 | 電源部二重化 |
| 入力電源 | - 48V | - 48V(AC200V入力は架一体構成で提供) |
| 外形寸法 (mm) | 18(W) x 331.5(D) x 223(H) | 272.3(W) x 331.5(D) x 223(H) |
| I/O拡張装置接続 | 最大2台まで接続可能 | 接続不可能 |



システム (ネットワーク) の構成